(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月7日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者 276-0022

住 所 千葉県八千代市上高野1795番5

法人名 日本クッカリー株式会社

代表者 今井田 英二

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047-480-1801

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本クッカリー株式会社 八千代工場					
事業場の所在地	事業場の所在地 千葉県八千代市上高野1795-5					
計画期間 令和6年4月1日 から 令和7年3月31日						
当該事業場において現る	こ行っている事業に関する事項					
①事業の種類	大分類: 製造業 中分類: 食料品製造業					
②事業の規模	前年度の製造品出荷額 122億円					
③従業員数	2024年3月末時点 682名(正社員 46人 常勤職員636人)					
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	動植物性残渣 → 発酵 → 飼料 動植物性残渣 → 生物処理 → メタンガス 廃プラスチック類 → 焼却 → サーマルリサイクル 汚泥 → 脱水 → 堆肥					

(日本産業規格 A列4番)

<u></u> 廃棄物の処理	 に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)			
別紙(管理体制			
 廃棄物の排出	 の抑制に関する事項		
	【前年度(令和5年度)		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	- t	
①現状	(これまでに実施した	取組)	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	- t	
②計画	(今後実施する予定の		
廃棄物の分別	に関する事項		
	(分別している産業廃	乗物の種類及び分別に関する取組)	
(1) HILL			
①現状			
	(今後分別する予定の風		1)
②計画	(今後分別する予定の)		L)

自ら	っ行う産業廃棄物の再	手生利用に関する事項		
		【前年度(令和5年度)実績		
		産業廃棄物の種類	別紙の通り	
		自ら再生利用を行った産業廃棄 物の量	t	t
	①現状	(これまでに実施した取組))	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙の通り	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物 の量	t	t
	②計画	(今後実施する予定の取組))	
自ら	。行う産業廃棄物の中 「	□間処理に関する事項 ■		
		【前年度(令和5年度)実績		
		産業廃棄物の種類	別紙の通り	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	①現 状	自ら中間処理により減量した産 業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した取組))	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う産業廃棄物の	別紙の通り	
		量	t	t
	②計画	自ら中間処理により減量する産 業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
<u> </u>				

自ら行う産業廃棄	物の埋立処分又は海洋投入処分に関	する事項	
	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分 を行った産業廃棄物の量	t	t
①現状	(これまでに実施した取組)	•	
	【目標】	DITOL WAS N	
	産業廃棄物の種類 自ら埋立処分又は海洋投入処分	別紙の通り	
②計画	を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理	の委託に関する事項		
	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理 委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託 量	t	t
①現状	認定熱回収業者への処理委 託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

_			
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理 委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託 量	t	t
②計画	認定熱回収業者への処理委 託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄			

- 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 当該年度の6月30日までに提出すること。 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。 (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前 年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の 実績を記入すること。
- (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理
- の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行う に際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量
- した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当す
- が、その内級として、後民誌足処理業者、廃棄物の処理及び信捕に関する法律施刊や第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- ※欄は記入しないこと。

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6月 7日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者

住 所 ²⁷⁶⁻⁰⁰²² 千葉県八千代市上高野1795 - 5

日本クッカリー株式会社八千代工場氏名工場長今井田英二

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047-480-1801

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その 処理に関する計画を作成したので、提出します。

	事業場の名称		日本クッカリー株式会社 八千代工場									
	事業場の所在地		千葉県八千代市上高野 1795番地5									
	計画期間		2024年4月1日~2025年3月31日									
当該	当該事業場において現に行っている事業に関する事項											
	①事業の種類	製造業 食料品製造業										
	②事業の規模		前年度の製造品出荷額 122憶円									
	③従業員数	2024年3	月末時点 6	82人 (正社員	46.	人 常勤関係職員636人)						
		【発生源】		【廃棄名】		【処理方法】						
		製造プロセス		動植物性残さ	\rightarrow	飼料化						
		①原料処理	(製造工程発生起因)	廃プラスチック類	\rightarrow	再資源/サーマル処理						
	① 才 类 虚 方	②炊飯	\rightarrow	廃食用油	\rightarrow	有価売却(再資源)						
	④産業廃棄物の 一連の処理の工程	③加熱処理		ダンボール・紙くず	\rightarrow	有価売却(再資源)						
	足のだ在の工住	④盛付		金属くず	\rightarrow	有価売却(再資源)						
			•		7							
		排水処理	\rightarrow	脱水汚泥	→	堆肥化						
		21.7		バキューム引取汚泥(液体)		. 1944 (64						

(日本工業規格 A列4番)

産業	廃棄物の処理に係る	管理体制に関す	つる事項	,						
	(管理体制図)									
	(管理体制図)									
	本社 (代表取締役)									
	本社 (統括環境管理責任者)	→ IS014001組織	環境管理委員	員会(2回/年)						
	(加加米光百年英江市)	13014001/mil/max	↓ 方針・決	定事項の通知		J				
	八千代工場 (工場長)	———→ IS014001組織	工場環境管理製造部会(毎	理推進委員会また :月開催)	こは					
	産業廃棄物管理責任者	_				•				
	産業廃棄物担当責任者 (現場担当者)									
産業	廃棄物の排出の抑制	に関する事項								
		【前年度(2	2023 年度	〕実績】						
		産業廃棄物の	種類	汚泥	t	廃プラスチック類	t	動植物性残渣	t	
		排 出	量	6, 047	t	639	t	1, 183	t	
	①現 状	(これまでに実		組)						
		汚泥 :堆肥化	汚泥 : 堆肥化 廃プラスチック類 : サーマルリサイクル・分別による							
		 再資源化 リキッド飼料化		ノック 独	. 9	— <i>マル</i> ッッイ	動材	直物性残渣	၁ :	
		【目標】								
		産業廃棄物の	種類	汚泥	t	廃プラスチック類	t	動植物性残渣	t	
		排 出	量	5, 745	t	633	t	1, 171	t	
	②計画	(今後実施する	る予定の取	組)						
		夜間担当者配置	置による排	水処理施設の	0安	定稼働				
産業	廃棄物の分別に関す	る事項								
		(分別している								
	①現状	動植物性残渣、 る。	廃プラス	チック類、氵	亐泥	、金属屑を分	·別l	して保管してい	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
		(今後分別する	予定の産業	廃棄物の種	類及	び分別に関っ	ナる	取組)		
	②計画	昨年までの取り	組みを継	続し、再資源	原化	可能な廃棄物	のら	分別を強化する	る。	

自ら	行う産業廃棄物の再	生利用に関する事項					,	/
		【前年度(年度) 実績】					
		産業廃棄物の種類						
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量			t			t
	①現状	(これまでに実施した取	組)					
		【目標】						
		産業廃棄物の種類						
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量			t			t
	②計画	(今後実施する予定の取	組)		I			
_								
自 6	っ行う産業廃棄物の中 「	間処理に関する事項自ら		き物の	の中間処理に	.関す	「る事項	
		【前年庫(2023 年度 産業廃棄物の種類			1		<u> </u>	
			汚泥汚泥	t	廃プラスチック類廃プラスチック類	t	動植物性残渣動植物性残渣	t
		産業廃棄物の量自ら熱 回収を行った	0	t	0	t	0	t
	①現状①現状	自ら中间処理により減重した 産業廃棄物の量自ら中間処理に より減量した 産業廃棄物の量	5, 140	t	0	t	0	t
		(これまでに実施した取		までに	に実施した取	(組)		
		汚泥の脱水処理汚泥の脱	水処理					
		【目標】【目標】						
		産業廃棄物の種類	汚泥汚泥	t	廃プラスチック頻廃プラスチック類	t	動植物性残渣動植物性残渣	t
		産業廃棄物の量自ら熱回収を行う	0	t	0	t	0	t
	②計画②計画	日ら中间処理により極重する 産業廃棄物の量自ら中間処理に より減量する 産業を棄物の暑	4, 883	t	0	t	0	t
		(今後実施する予定の取	組)(今後第	を施 つ	する予定の取	(組)		
		汚泥 :脱水処理の継続	実施。					
			汚泥	:脱	水処理の継続	医実施	<u>च</u> .	
		<u> </u>						

(第4面) (第4面)

の埋立処分又は海洋投入処分	に関する事	項自	ら行う産業廃	棄物	勿の埋立処分!	ZKI
【前年度(【)実績】					
産業廃棄物の種類						
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量			t	/		t
(これまでに実施した取	組)					
【目標】						
産業廃棄物の種類						
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量			t			t
	 組)		<u> </u>			
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
産業廃棄物の種類	汚泥	t	廃プラスチック類	t	動植物性残渣	t
全処理委託量	907	t	639	t	1, 183	t
優良認定処理業者への 処理委託量	0	t	403	t	0	t
再生利用業者への 処理委託量	907	t	0	t	1, 183	t
認定熱回収業者への 処理委託量	0	t	639	t	0	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	t	0	t	0	t
処分場が適切に管理され	ているか年	1回の)視察を行って	てい	いる。	ļ
						ļ
	【前年度(【i 年度 産業廃棄物の種類 自海産 (「前年度(【i 年度)実績】 産業廃棄物の種類 自ら埋立処分又は 海洋投棄物の量	【前年度(【i 年度)実績】 産業廃棄物の種類 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組) 委託に関する事項 【前年度(2023 年度) 実績】 産業廃棄物の種類 汚泥 t 全処理委託量 907 t 優良認定処理業者への 0 t 同共生利用業者への 0 t 認定熱回収業者への 0 t に関する事項 907 t に関する事項 5元 t	「前年度(【i 年度)実績】 産業廃棄物の種類 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	「前年度 (「 年度) 実績	 産業廃棄物の種類 自ら埋立処分を行った 産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 【目標】 産業廃棄物の種類 自ら埋立処分を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組) 【前年度(2023年度)実績】 産業廃棄物の種類 汚泥 t デラスチック類 t 動植物性残渣 全処理 委託量 907 t 639 t 1,183 優良認定処理業者への の t 403 t の 処理委託量 907 t 0 t 1,183 ごた利用業者への 処理委託量 907 t 0 t 1,183 ごた利用業者への 処理委託量 907 t 0 t 1,183 ごた利用業者への の t 403 t の 0 は 3 t の 0 は 3 t の 0 は 3 t の 0 は 3 t の 0 は 3 t の 0 は 3 t の 0 は 3 t の 0 は 3 t の 0 は 3 t の 0 は 3 t の 0 は 3 t の 0 は 3 t の 0 は 3 t の 0 は 3 t の 0 は 3 t の 0 は 3 t の 0 は 4 t の 0 は 4 t の 0 は 4 t の 0 は 4 t の 0 な 4 t の

(第5面)

(第5面)								
	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	t	廃プラスチック類	t	動植物性残渣	t	
	全処理委託量	862	t	633	t	1, 171	t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	0	t	399	t	0	t	
	再生利用業者への 処理委託量	862	t	0	t	1, 171	t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0	t	633	t	0	t	
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	t	0	t	0	t	
	(今後実施する予定の取 年1回の処分場視察を継続							
※事務処理欄								